

フロムワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター。

(有)フロムワン

「1から」通信

発行部数

250部

平成21年4月号(15号)

川口市東川口1-16-6-2F

TEL 048-291-2240

FAX 048-291-2242

発刊者 山本 達也

やっと春らしくなってきましたネ！ウキウキしてきます。
 出会いあり、別れありの季節ですネ。
 お世話になります。四十一歳の春を迎えた(有)フロムワン 山本です。
 「四十一歳の春だから…」はて？どこかで聞いたフレーズ。
 しまった！バカボンのパパと同じ年齢になってしまったのだ。
 そう考えると、とっても不思議な気持ちになります。

春なのだ！！



子供の頃、宿題そつちのけで一生懸命見ていたなつかしのアニメ達。
 もちろんビデオなんてありませんから、一話一話が真剣勝負。まさに一期一会。
 見たいアニメを見逃した時の、夜も寝れないあの悔しさ…。
 きつと親にしてみれば、その位の心意気で勉強してほしいことでしょう。トホホ。
 それでは、今日もハリキッテお届けします、十五号！
 よろしくお付き合ってください。



インターネットの話<FAX編>

その前に…

このコーナーでは、インターネットに関するお話をシリーズでお届けしています。

- ①基本のしくみ編 ②IP/ひかり電話等の電話活用編、そして前号からFAX活用編に突入しております。
 本題に入る前に、前号では基本的なFAX通信の仕組みをお伝えしました。
 今回も引き続きFAXのしくみその2をお届けします。それでは、はじまり、はじまり。

<前回の復習>

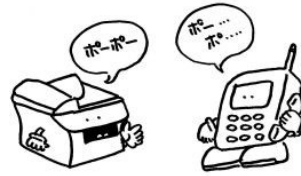
FAXはまず、原稿をなんと190万個の白黒マス目をスキャンして読み取っているのだ、というお話でした。そして今回は、読み取った原稿がどのように送受信されるのかお届けします。

● データの送受信

FAXを送る時って、次のような音がしませんか？

ポー...ポー...

これはFAX同士が会話している音なんですよ。



送る側のFAX：「ポー... (こちらFAXです。今からFAX送るよ!)」

受け取る側のFAX：「(了解。僕は家庭用のFAXだからあんまり早く情報を送ってもらっても困るんでゆっくり頼みます。)」

という感じでFAX同士が今からどのように情報をやりとりするかを対話で決めているんです。FAXはもちろん各メーカー、各機種によって持っている能力が異なります。そこでお互いのFAXの性質をお互いが理解し、通信が上手くいくように対話するんですね。この対話に失敗してしまったりはあとあと情報の送受信がうまくいきません。そこでこの対話はノイズに強いかなりゆっくりした速度で確実にやっているんです。

FAXが原稿を送るとき、電話がつながってからすぐにFAXを送り始めるのではなく、しばらくしてから原稿を送り始めるのは、上の対話を行っているからなんですよ。

さてこれでFAXを送受信する準備が整いました。でも時にFAXにはとても重要な情報が含まれています。せっかく送った情報が正しく送られていなくては大変です。そこで念には念を入れて、まずは「お試し」で簡単な情報を送受信するんです。

「お試し」が終わってはじめて原稿に書かれた情報を送り出します。

● データの送信開始

FAXにはモデム(変復調装置)っていうのが入ってます。これはコンピュータがわかる言葉を変えたり、音声をコンピュータがわかる言葉に変えるものなんですよ。つまりFAXの中のスキナーが読み取った情報を...



このように音に変えるんです。その音を相手のFAXに電話線をたどって伝えるんですね。

このモデムから発せられた音をいつも皆さんが電話をする時と同じように、相手のFAXが聞き取り受信側のFAXのモデムが、この音をコンピュータにわかる言葉に変えるんです。

この伝わった音をもとにして、FAXが印刷を開始する訳です。



次回からはいよいよ、インターネットを使ったFAX活用編に突入です！！

おすすめ本



<シーシーの「真ん中」に立つ方法>

竹書房

著者 桜井 章一

一晩に何億という金が動く裏麻雀の世界で20年間無敗。「雀鬼」と呼ばれた伝説の人、桜井章一氏の本です。メジャーリーガーのイチロー選手、松井選手をはじめ多くの著名人(勝負師)が氏の著書をバイブルにしています。ビジネス書のような「答え」や「方法論」はありません。副題が示すよう、他の著書に比べ優しく語りかけるような内容ですが、そこにあるのは、ギリギリの勝負の果てに到達したであろう、桜井章一氏の変わらぬ哲学と美学、そして優しさです。私も苦しくなったり、行き詰ったりした時、真っ先に手にとるのが桜井氏の著書です。ふっと気持ちが楽になり、「がんばるぞ！」ではなく「がんばってみるか。」という気持ちにさせてくれます。是非。

<編集後記>

皆さんはお花見に行かれましたか？私は、子供たちにせがまれ東武動物公園に行ってきました。やっぱり満開の桜の下で食べるお弁当はサイコーでした！広大な敷地には立派な遊園地もあるのですが、動物大好きな子供たちは、アトラクションには見向きもせず、一日中ふれあいワンワンパークとホワイトタイガーに夢中でした。いつもは生意気な娘と、イタズラ坊主を絵に描いたような姉弟なのですが、乗り物代がかからなかったせいで、二人ともとってもお利口さんに思えた春の一日でした・・・「これでイイのだ！」

それでは、次回夏号でお会いしましょう。

